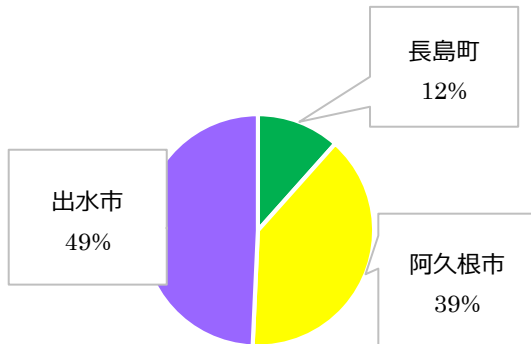


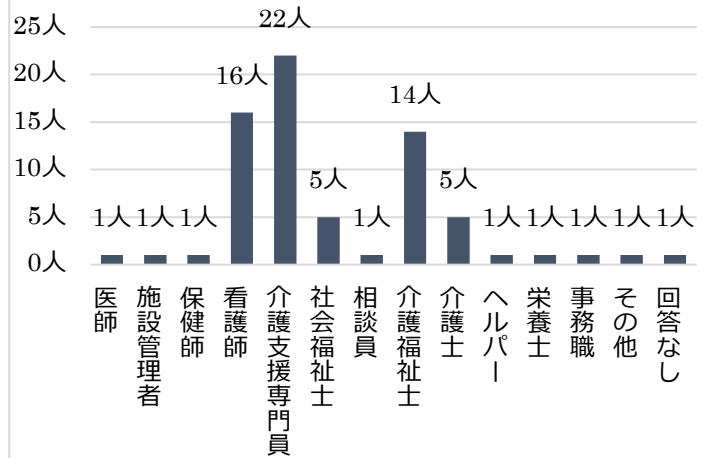
平成 30 年度 施設従事者及び在宅医療・介護従事者研修会

折多地区集会施設 91 名参加 アンケート回収 69 回答権 87 名 回答率 79%

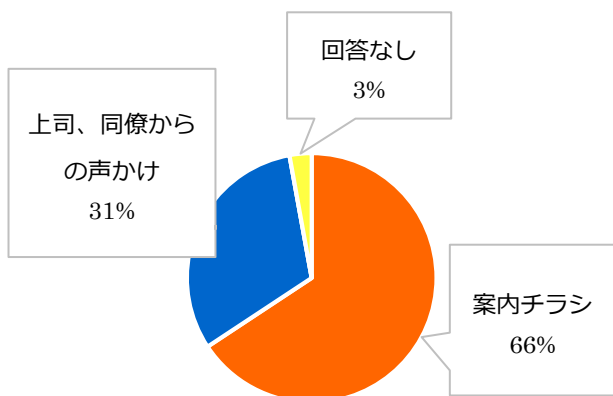
1-① 勤務地



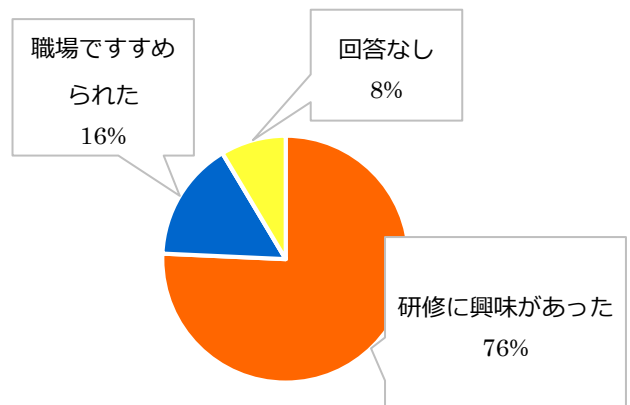
1-② 職種



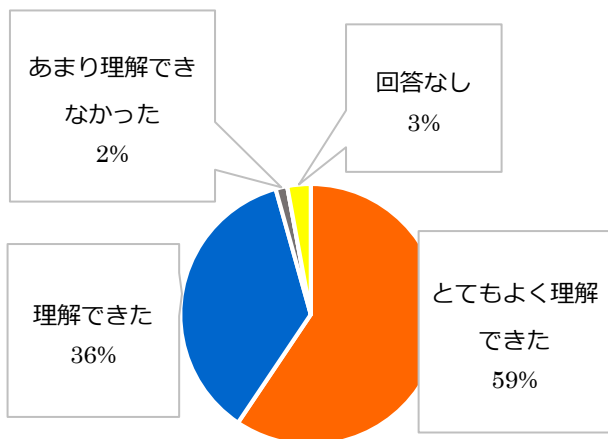
2-① どのようなきっかけで知りましたか



2-② 参加動機



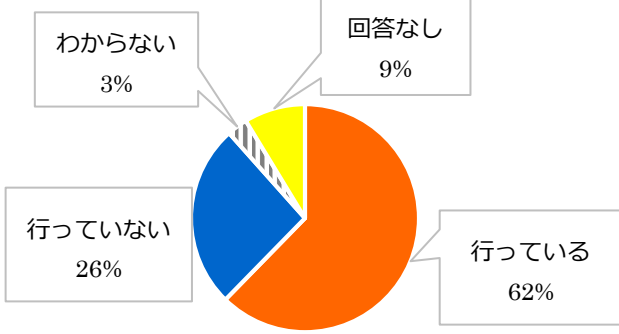
3-① 講演内容はいかがでしたか



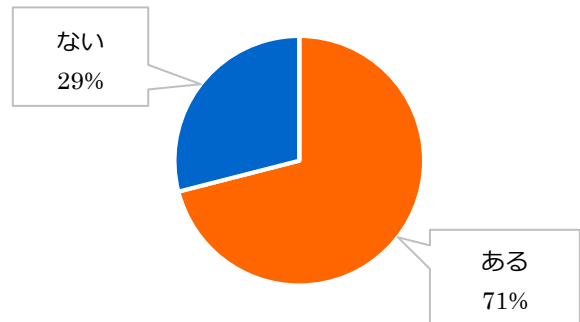
3-② 講演の感想

- ・古城先生の講演内容が解り易く、参加出来てよかった。ありがとうございました。(他2名)
- ・丁寧で心のこもった講演でした。気持ちが伝わり共鳴できた。(他1件)
- ・本人、家族の背景がとても大切だと感じた。
- ・家族とのコミュニケーションの中からお本人の思いを聞いたり、入院前に元気な状態での意思を引き継いで共有できればと感じた。
- ・本人の意思と向き合っているが、家族都合を優先される場合、それでいいのかと迷う。
- ・色々な意見が聞けてよかった。
- ・最初、グループワークがあると聞き、嫌だなと感じたが実際やってみると大変面白かった。勉強になった。
- ・グループワークの意見交換で色々参考になり、楽しく理解できた。(他1件)
- ・グループワークでの他者の意見、古城先生の説明や体験談を聞き本当に良い研修会だった。
- ・看取りケアの考えが少し理解できた。
- ・本人の希望、家族の希望を引き出す事の重要性とそのことに向き合う支援の必要性を改めて感じた。(他1件)
- ・毎日忙しい介護業務の中で忘れがちな事や、本当に大切な事を思い出させて頂いた。参加出来てよかった。
- ・病院勤務だと看取りの数が少なく、今後の為に勉強になった。
- ・臨終の場には数回立ち会った事があり、そのたびに利用者、患者への思いがあった。関係機関との連携、家族への癒し等、考えさせられることが多かった。
- ・祖母の看取りの時を思い出した。家族の立場でしか看取りに関わったことが無いが、この講演を拝聴していればもっと違った形で送り出せたかもしれない…少しずつ学びたいと思う。
- ・難しい題ですが、利用者の事を考えていこうと思った。
- ・その人に合った声掛けは、難しいと感じた。
- ・太郎役、支援者役に実際なってみると、その人になりきり考えながら話をするのが難しかった。
- ・自分と仕事を見つめ直すきっかけになった。
- ・利用者に最期の過ごし方を質問するのに、どう聞けばいいのかわかった様な気がする。
- ・誰しも必ず最期がある。死ぬ日がくることを実感できた。死に方、生きぬき方の話をしたいと思った。
- ・自分らしく後悔なく、生きぬけるように支援していきたい。私自身も、私の身内自身にも考えられるようにもしていきたい。
- ・介護スタッフでも出来る！！と思った。関係性づくりが大切と感じた。
- ・寄り添う深さを学んだ。
- ・倫理観と価値観の普遍性はあるのか。人は自分の価値観が優先する？
- ・急変時対応について考えていたつもりであったが、より深く考えなければいけないと思った。
- ・看取りについてあまり心配しなくていいことを学んだ。
- ・看取りにはまだ直接的な経験はないが、連携の大切さを学ぶ事ができた。
- ・命と向き合う為には、何が大切かととても解り易く共感できた。グループワークを通して、どのようにとらえたらいいのかを学ぶことが出来た。
- ・一人一人に寄り添い、その人らしさを見極めるのは大変難しい。少しでも解ることができるよう努力していきたい。

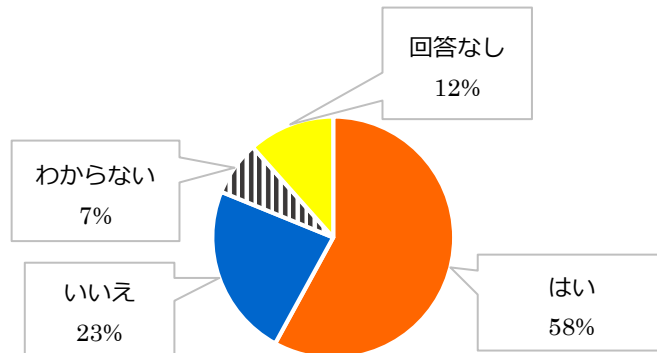
4-① あなたの勤務されている職場で看取りが行われていますか



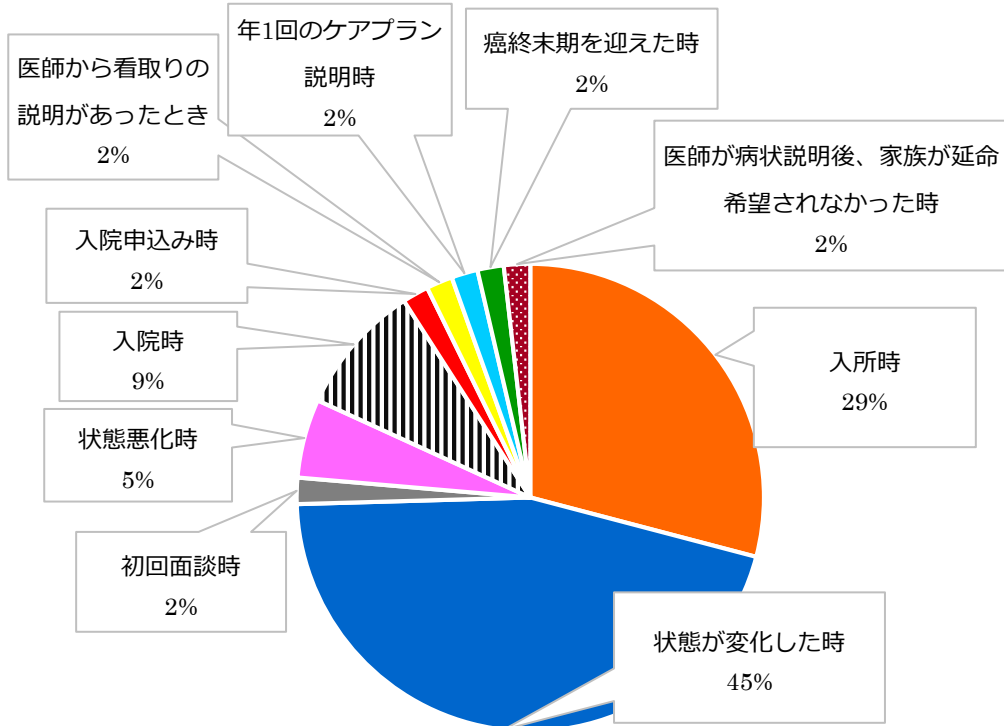
4-② あなたは今まで公私に関係なく、看取りに立ち会ったことがありますか



4-③ あなたの職場では本人や家族に、今後の医療や延命治療などの希望等（事前指示書）を確認されていますか



事前指示書を確認する時期



5. 今後、研修会で取り上げて欲しい具体的な要望（研修内容やテーマなど）をご記入ください。

- ・また看取りについて学びたい。
- ・終活と看取りのリンクをテーマにした内容。
- ・古城先生の講演
- ・認知症の方に支援の仕方、終末期について、施設ケアについて（古城先生の）
- ・不穏の方の対応の仕方
- ・帰宅願望時の声かけの仕方
- ・医療と介護の連携（退院支援）
- ・本人、家族とのコミュニケーションの演習
- ・癌性疼痛のコントロール
- ・看取りにあたり、利用者、家族への対応と記録方法

**6. 「出水郡医師会在宅医療介護支援センター」
のホームページにアクセスしたことがありますか**

